

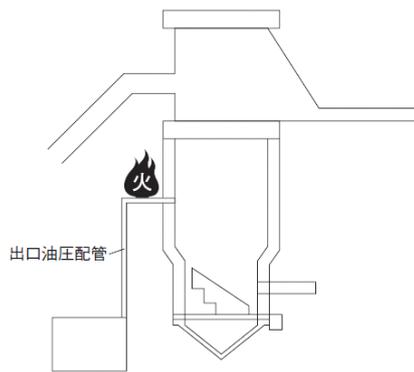
# 火災・事故防止に資する防災情報提供シート

防災情報の種類：火災, 爆発, 漏洩, その他 | No. 010009004

件名：配管が損傷し、噴出した油に引火した火災

## 【事象概要】

紙の製造工場で油圧装置の配管の1本が劣化、破損したため、破損箇所から高圧の油が噴出した。その後、油が油圧装置の高温部に触れ発火した。



## 【事象の原因】

油圧装置の出口油圧配管 24 本のうちの1本が、年月の経過と繰り返しの振動により劣化が進行し、破損した。高圧 (60kg/ cm<sup>2</sup>) 配管であったため、油が破損箇所から噴出し霧状に拡散、油圧装置の両サイドにあるスラッジ燃料シュート (内部温度約 350℃) の保温材の隙間に浸入し高温部に触れ発火した。

## 【再発防止対策】

- (1) 油圧装置及び制御盤をボイラー本体の高温部から遠ざけて設置するとともに、配管の振動確認を十分行い、振動箇所には配管サポートを取り、振動を防止する。
- (2) 設備、機器等に異常が発生した場合の非定常作業を標準化する。
- (3) 安全作業に努めるとともに、教育・訓練を実施、再発防止に努める。
- (4) 設備の機能、構造等に応じた適正な点検時期を設定し、計画に基づいて施設の管理を行う。